

ゆのまえ 議会だより

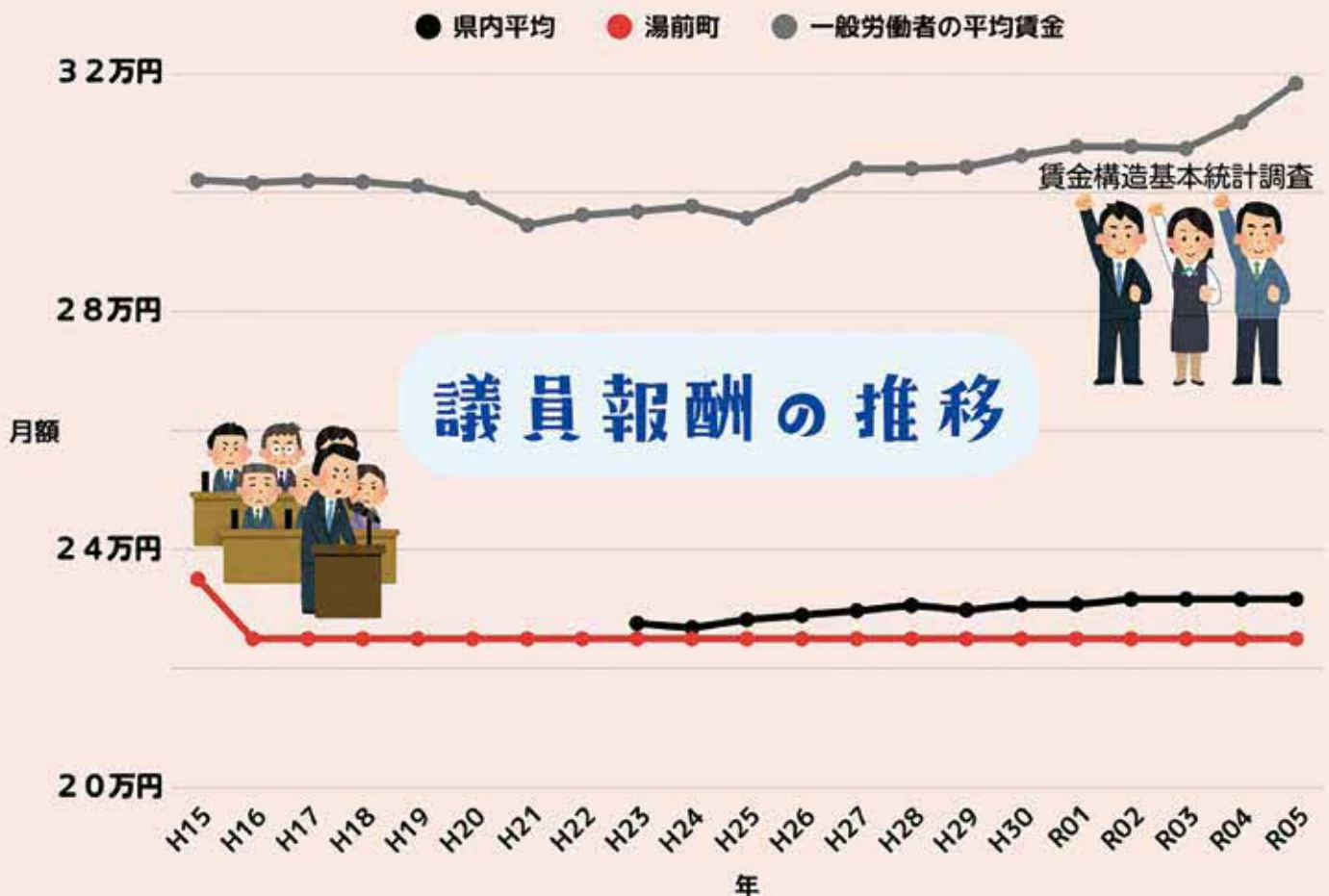


No. 50

令和7年
5月1日発行

「住民に見える議会」
「住民が参加しやすい議会」
「議会力・議員力の向上」を実現する

議員報酬の見直し



- P2 特集1 議員報酬20年ぶり見直し
- P5 特集2 議員3人から要望書
- P6 本会議 令和7年度予算成立
- P10 一般質問 3人が執行部の考えを質す
- P14 議員派遣 長崎県時津町議会からの視察研修
- P16 委員会 宅地分譲と町営住宅の新築
- P18 議会の窓 くま川鉄道全線開通の重要性を学ぶ
- P19 一部事務組合 当初予算と町負担金
- P20 住民の声 議員報酬の引き上げ

今号のイラスト

湯前町の議員報酬は、平成16年に引き下げて以来、熊本県町村議会の平均を下回る水準にあります。一方で、一般労働者の平均賃金(厚労省の賃金構造基本統計調査より引用)は少しずつ上昇していますが、議員報酬は据え置かれていました。しかし、全国や県内の町村議会の状況を受けて、本町の議員報酬にも動きがありました。

特集(2ページ)につづく・・・

特集1

議員報酬 20 年ぶり見直し

県平均額に引き上げ

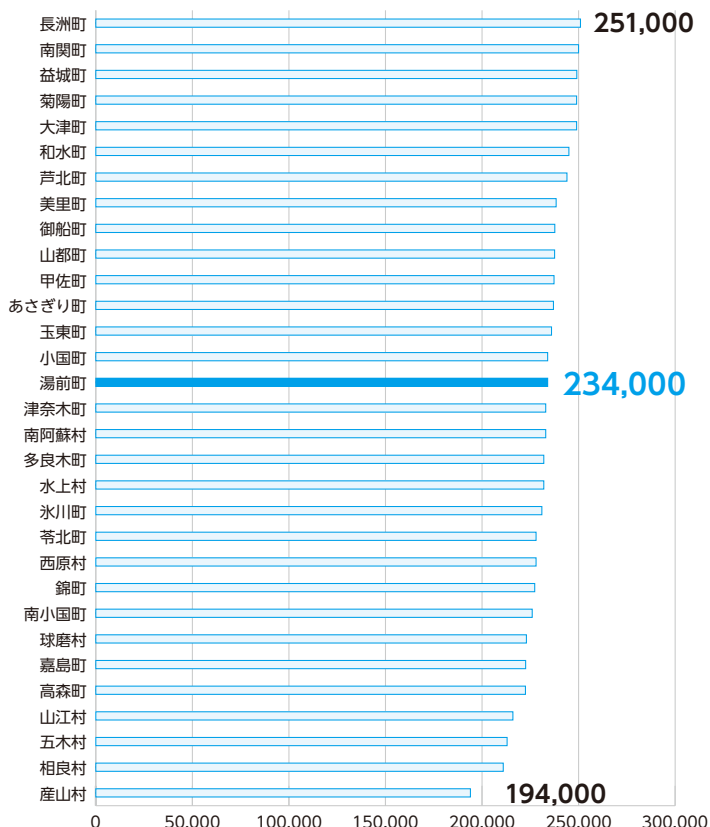
前期の湯前町議会では、議会改革調査特別委員会における議員のなり手不足対策を調査し、令和6年3月に議員全員の総意で、町長に特別職報酬等審議会(以降、審議会)の開催を要請しました。審議会の答申を踏まえて、議長、副議長、委員長、議員の報酬額を引き上げる条例改正の議案が上程され、賛成多数で可決しました。

	変更前(月額)	変更後(月額)
議 長	29万8000円	31万円
副 議 長	24万6000円	25万5000円
委員長(常任委員長・議会運営委員長)	22万8000円	24万5000円
議 員	22万5000円	23万4000円

審議会の答申

審議会は、議員報酬の改定額を県内平均(23万4000円)とする答申書を町長に提出しました。引き上げの要因としては、「賃上げなどの社会環境の変化」や「議員の役割が増えている」こと、「優秀な人材確保のための環境整備」、「自治体規模の大小で議会活動の質や量がかわらないこと」などがありました。

県内町村 議員報酬(月額)の比較 (単位:円)
※引き上げ後



教えてゆっくん

特別職報酬等審議会って何?

町長は、「議員報酬の額」や「町長・副町長および教育長の給料の額」に関する条例を改正する場合、あらかじめ審議会の意見を聴かなければならないのだ。審議会の委員(6人以内)は町長が任命することになっているよ。町民や公共団体などの代表者の意見を聞くことで、**公正かつ適切な報酬を決定するために設置されているのだ。**

議案審議

議員報酬を県平均額に引き上げる条例改正

6対3で可決

※賛否の詳細は、9ページ（議案審議の賛否一覧）を参照。

反対討論

山下議員

今回の改定は、議員報酬額が9000円の上げ幅に対し、委員長報酬が1万7000円の上げ幅であった。委員長報酬と議員報酬の差額は、今まで3000円だったものが1万1000円になった。年間では16万円程度になる。

本町を含め、県内町村議会で、委員長報酬を定めているのは、31市町村中12町村と少数である。球磨管内は、あさぎり町と本町の2町だけ。ちなみに、あさぎり町は、委員長と議員報酬の差額が3000円である。

人口4万3300人の財政豊かな菊陽町、人口3万5100人の財政豊かな大津町の2町は、委員長報酬と議員報酬の差額が1万2600円だった。そのような中で、人口3400人の財政が厳しい湯前町の差額は、1万1000円であり、県内で3番目に高い。

特別報酬等審議会(以降、審議会)の答申が、令和6年12月27日にあっている。それから議会に執行部が説明したのが、今年の2月25日であり、約2ヶ月間の時間があつた。途中で、説明を受け、議員間討議といった場面があつてもよかったのではないかな。

3月7日に議会の審議を中断して、議員間討議を行った。各議員の意見は、委員長をはじめ、多数の議員は答申通りでいいという意見。少数の議員は、上げ幅が大きいと意見が割れたため、お互いの歩み寄りを主張するも、聞いてもらえなかった。

教えてゆっくん

討論って何？

議題になっている事件に対して、自己の賛成または反対の意見を表明することだよ。その目的は、自己の意見に反対する者および賛否の意志を決めていない者を、自己の意見に賛同させることなのだ。「〇〇を除いて賛成」など、条件付き討論はあり得ないよ。このような意見は、質疑の段階で十分論議し、必要によっては修正案を提出するなどの措置をとるべきなのだ。



賛成討論

吉田議員

今回の条例改正は、審議会の答申を受けて、町長から提出された議案である。昨年9月に全議員の賛成で可決成立した議会基本条例第9条第2項に「報酬等の条例改正議案の提出にあたっては、審議会の意見を尊重するものとする」とある。

今回の報酬額の改善も、審議会の答申を重く受けとめ、上げ幅に見合った議員個人の資質の向上に努めていかなければならない。また、委員長報酬の引き上げ幅が大きいという反対討論であつたが、本町の委員長の仕事量の多さや職責の重さを考慮すると、上昇率が高いということではなく、一般議員とこれくらいの差があつても当然ではないか。

西議員

審議会の答申では、県内町村の平均額まで引き上げることが妥当とされており、これは他の町村との均衡を保ち、議員活動の環境を高めるために必要なものである。また、定期的な審議会の開催を求める付帯意見も示されており、社会環境や財政状況の変化に応じた検討を行うための重要な視点である。

今回の引き上げは、県内平均額の調整であり、決して過大な増額ではない。町民の理解も得られる範囲。将来的な議員のなり手不足を防ぐためにも、適正な報酬の設定は不可欠である。

椎葉議員

提案された報酬額は、地方自治法に基づき条例で定めた、議長、副議長、委員長、議員の報酬額が算定根拠になっている。条例の報酬額を用いた県内の平均額であるため、町民の皆さまにも分かりやすい算定方法になっている。報酬額の中でも、委員長報酬の差額が大きく見えるが、これまでの報酬額が低すぎたことが原因である。今回の委員長報酬は、仕事内容や職責、自身の委員長経験などからしても、妥当な役務の対価である。

今回の条例改正は、議会基本条例で定めた審議会の意見を尊重するという理念に基づいている。3月10日の全員協議会でも、この意見を尊重する議員が多数いた。

全国や県内の動向に合わせた報酬体系の見直しは、必然的なことであり、議員のなり手不足などを含めた議会改革の重要な一歩となる。

議会基本条例における審議会の規定

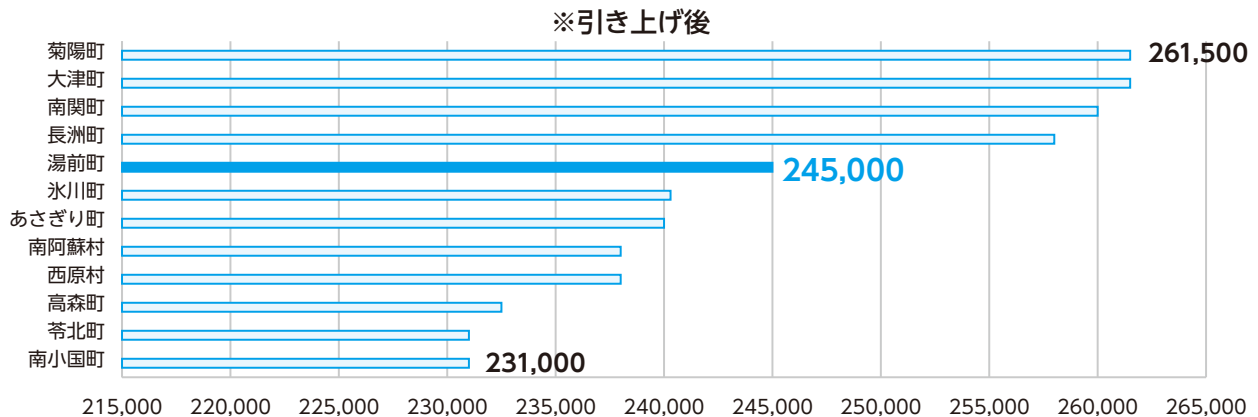
令和6年度に制定した湯前町議会基本条例では、以下のように定めています。

第9条（議員報酬等）2 「報酬等の条例改正議案の提出にあたっては、町の常勤特別職及び一般職の職員に支給される給与の状況、他の市町村の動向、町の財政状況を総合的に考慮するとともに、**湯前町特別職報酬等審議会の意見を尊重するものとする。**

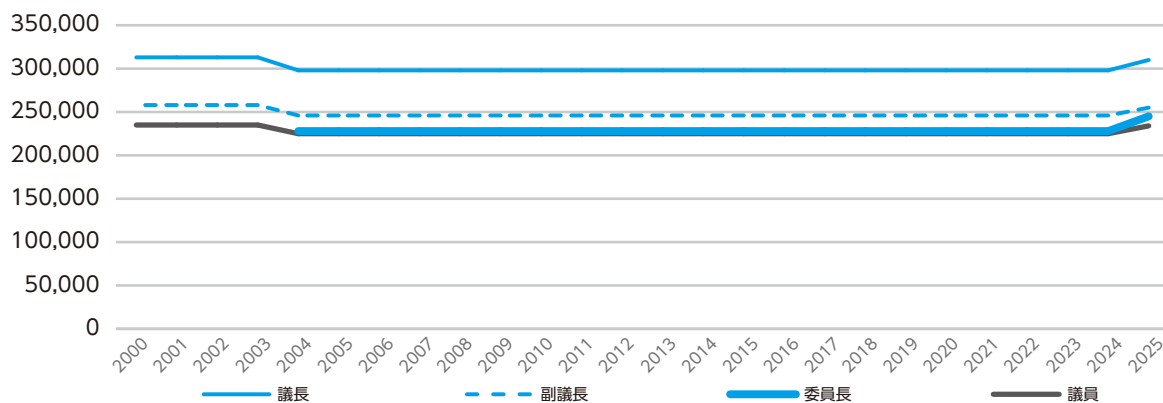
委員長報酬の背景

湯前町議会における委員長の報酬額は、平成16年から条例で定めています。熊本県内において、常任委員長と議会運営委員長の報酬を条例で定めているのは12町村です。全国町村議会議長の「議員報酬等のあり方最終報告(平成31年3月)」では、「委員会、そしてその委員長の役割が高まっていることに鑑み、**委員長には充分な額(手当ではなく報酬)が現状では必要である**」と示されています。

条例で委員長報酬(月額)を定める町村の比較 (単位:円)



湯前町議員報酬(月額)の年度推移 (単位:円)



全国町村議会議長の動向

全国町村議会議長会では、令和6年度においても議員報酬の改善(引き上げ)を国に対して要望しています。「議員報酬の適正化に関する決議(令和6年7月)」では、「町村長の給料月額 of 47%程度を目指すことが示されています。(本町に例えると36万3000円)

また、「議員のなり手不足対策及び議会への多様な人材の参画に関する重点要望(令和6年11月)」では、「若者や女性などが議会に参画できるよう、議員報酬に生活給的要素を加味すること」や「地方交付税算定における議員報酬単価(令和6年度:32万9000円)を引き上げること」などが盛り込まれています。

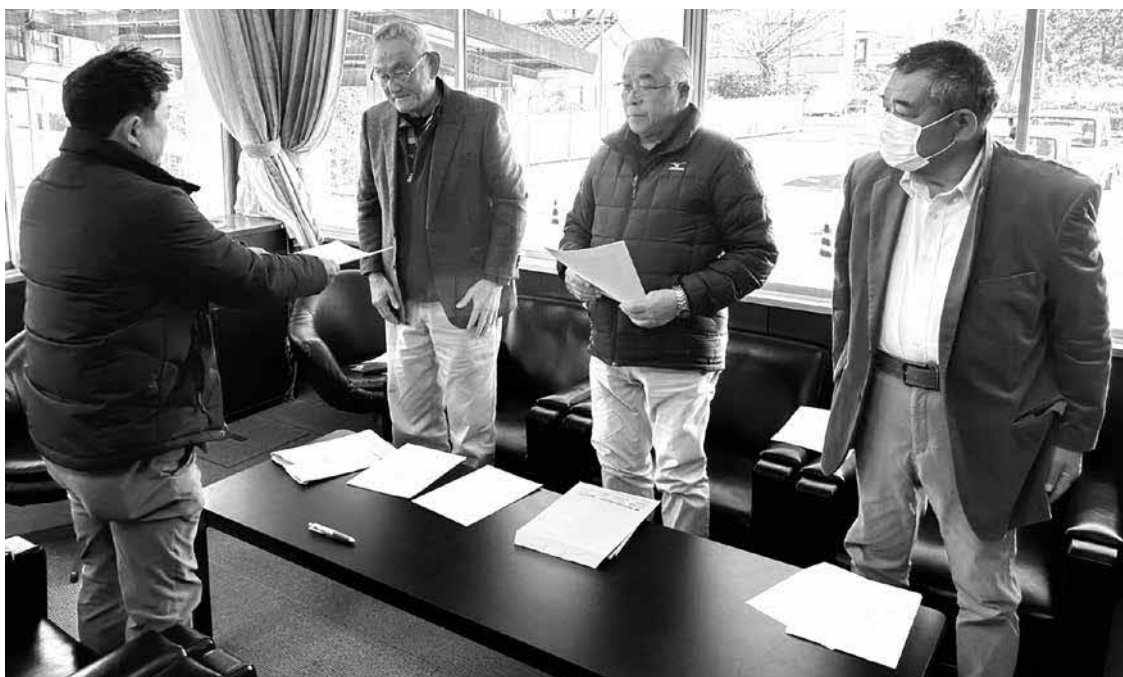
特集 2

議員 3 人から要望書

議員から議長へ提出

2月14日に、山下議員、味岡議員、森山議員から要望書が議長宛てに提出されました。2月25日に金子議長から回答書が示されました。同日、この要望書と回答書の内容を、議会独自の全員協議会で協議しました。

1. 要望書の内容	2. 回答書の内容	3. 全員協議会の結論
現職議員全員に、今回の無投票当選の受け止めと見解の提出を求め、次号の議会だよりで公表すること。	全員協議会で協議することが必要と考え、その上でどのようにするかは対応する。	議員のなり手不足の対策として、前期に引き続き特別委員会で調査する。
改選後の議長選挙で反対した議員は、希望した一部組合議員の議員に選出されないなど不応な差別を受けている。再度、全員協議会で協議すること。	決められた手順を踏んで最終的に本会議で決定したものであり、再考の必要はないと考える。	回答書のとおり。(本会議では「全員異議なし」で選出)
議長室は、議長派の議員だけの打ち合わせ場所になっているように感じる。議長室を本来の目的にそって利用すること。	入室を制限している訳ではないし、議員全員が利用できる場であると考えている。必要であれば議会改革特別委員会などの検討も考える。	回答書のとおり。



要望書を提出した議員らに回答書を手渡す金子議長

本会議

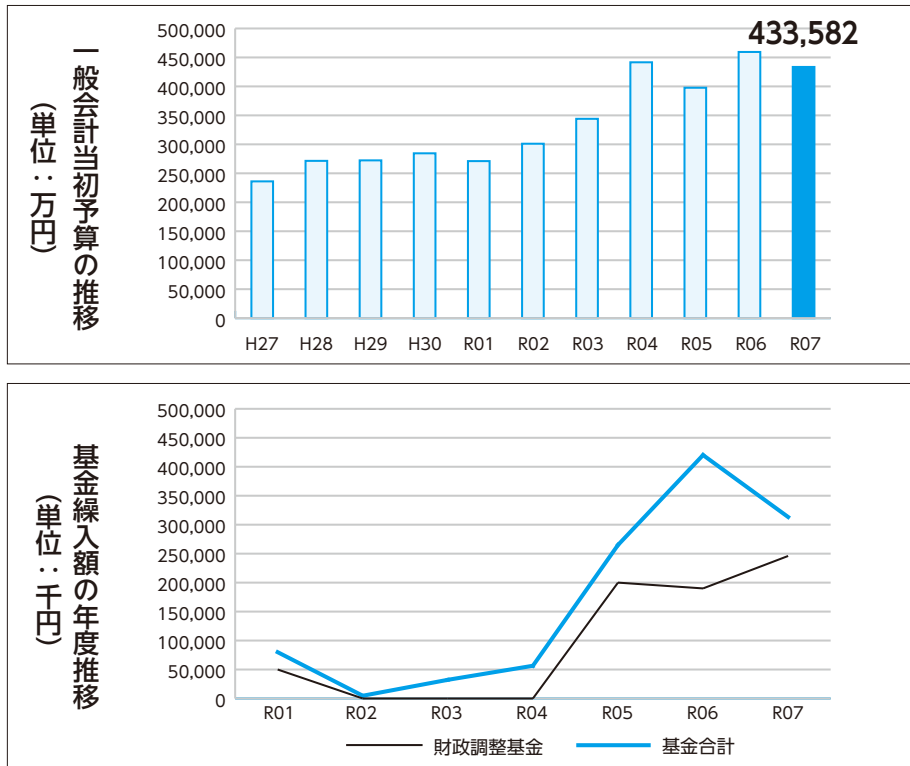
令和7年度予算成立

3年連続の基金活用

3月定例会は、6日から14日まで9日間の日程で開かれました。議員3人が一般質問を行い、令和7年度当初予算や令和6年度補正予算、条例改正などを審議しました。議員報酬の条例改正では、賛否が分かれました。1月16日と2月25日には、臨時会を開いています。

当初予算

一般会計当初予算は、過去3番目の規模になりました。令和4年度以降、湯前駅周辺の再開発計画が進められており、財政調整基金などからの基金流出が増えています。



役場トイレを新設
庁舎トイレ・多目的トイレ整備工事設計業務委託料 **500万円**

役場庁舎のトイレ(以降、庁舎トイレ)は、排水管の目詰まりが頻繁に発生するようになり、令和5年度から現在まで計4回の修繕など、早急な改修が必要になっていました。

庁舎トイレは、職員だけでなく、来庁者も利用されますが、庁舎建設の当時から、狭くて利用しづらいトイレとなっていました。また、現在の庁舎には、ユニバーサルデザインのトイレがありません。

このため、令和7年度の予算で、庁舎トイレと多目的トイレの整備工事設計業務を計上し、これが終了した後に工事請負費の補正対応を行います。

財源として、多目的トイレのみの補助事業はありませんが、自主防災組織や消防団員などが活動できる広間を備えた施設であれば、緊急防災減災事業債や消防庁所管の国庫補助などが活用できます。

学校の空調とトイレを改修

湯前町指定避難所空調整備工事監理業務委託料 **300万円**

指定避難所空調整備工事 **8700万円**

避難所に指定している小学校体育館に続き、中学校体育館の空調設備を整備します。財源は、緊急防災減災事業を活用します。

小中学校トイレ改修工事設計業務委託料 **330万円**

小学校トイレ改修工事 **1200万円**

中学校トイレ改修工事 **1000万円**

湯前小学校と湯前中学校の和式トイレをすべて洋式に改修します。現在の洋式化率は、小学校が43%、中学校が47%です。

財源は、国庫補助金(学校施設環境改善交付金)を活用します。

地デジ配信の方式変更

地上デジタルテレビ難視聴世帯解消事業委託料
585万2000円
地上デジタルテレビ難視聴世帯解消事業補助金
600万円

地デジ難視聴76世帯の地デジ放送を、民間の「ひかりTV」による方式に移行します。

これにより、役場のセンター機器や町光ケーブルなどの既存設備を全撤去できます。民間サービスを利用することで、これまで行ってきた町の対応(支障移転や災害復旧など)が不要になります。

ひかりTVは個人契約となりますが、これに係る経費は、町が全額補助します。

インターネットテレビを視聴するための端末をお持ちでない世帯には、タブレット端末を貸し出します。

※この記事の関連は、議会だよりNo.46号16ページ(委員会)を参照。

二溝を整備

県営水利施設等保全高度化事業負担金
1093万8000円

二溝(上溝と中溝)の用水路改修工事における町負担金です。令和7年度の事業費に対し、町負担分10%と地元負担分7.5%を合計した17.5%分を計上しました。

水利施設を整備

辻地区沈砂池整備工事
5700万円

球磨プレカット横を流れる町田川に791mの沈砂池を整備します。令和2年7月豪雨災害と令和4年台風災害で、町田川の上流から流出した土砂が、下流の水田などに大きな被害をもたらしました。

この工事に対する国県補助の要望と調整を進め、令和7年度に事業採択される見込みとなったため、工事費を計上しました。

財源は、団体営水利施設等保全高度化事業(簡易整備型)の補助金などを活用します。

キャンプや観光を推進

キャンプ場等誘客促進事業補助金550万円

ゆのまえ温泉湯楽里のWEBサイト構築や宿泊予約システム構築など、キャンプ場や観光の誘客促進を行う事業に補助します。

湯前町観光プロモーション業務委託料 360万円

町の観光に関するポスターやPR動画の作成、SNSによる町の認知度向上に係る取り組みを、民間に委託します。

4事業者に増額配分

林業担い手対策事業補助金 200万円

この事業は、令和5年度に森林環境譲与税を活用して、林業の担い手対策として始まった事業です。これまでの120万円だった予算を200万円に増額し、熊本県が認定する林業事業者(町内4社)を支援します。

この補助金は、森林整備を担う人材の育成および確保を図るため、作業用機械や安全対策用品などの経費が対象になります。

ふるさと納税 目標 2億円

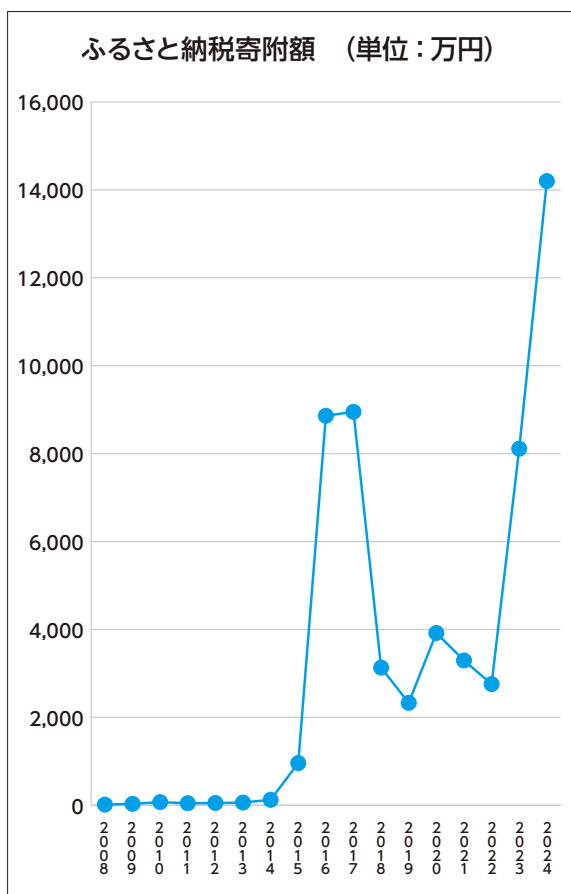
ふるさと納税業務委託料
9664万6000円

ふるさと納税決済手数料
468万6000円

令和7年度は、事業者数や返礼品数を増やしながら、目標寄附額2億円を目指します。

第6次総合計画(後期)の「ふるさと納税税収額」は、令和9年度目標額を7000万円に設定していますが、令和6年度の実績でこの目標値をすでに達成しています。

ふるさと納税寄附額 (単位:万円)



サテライトオフィス 兼コワーキングス ペースを新設

湯前町サテライトオ
フィス新築工事監理業
務委託料 250万円
湯前町サテライトオ
フィス等新築工事
5400万円

企業誘致した企業やワー
ケーション事業で来町した企
業や町内事業者が利用できる
よう、個室や会議室などを備
えたサテライトオフィス兼コ
ワーキングスペースを新築し
ます。

サテライトオフィスとは、
企業の本社や本拠地から離れ
た場所に設置されたオフィス
です。また、コワーキングス
ペースとは、さまざまな職種
の人が、作業場所や会議室な
どを共用して仕事をするス
ペースです。

財源は、新しい地方経済・
生活環境創生交付金を活用し
ます。

住宅と宅地を整備 一般住宅上里団地建設 工事設計業務委託料

540万円
JA倉庫跡地分譲地造
成工事 5000万円

JA倉庫跡地に宅地分譲地
(5区画)を整備します。また、
この分譲地内に令和8年度か
ら建設予定の単身向け町営住
宅(2棟6戸)の設計業務委託
料を計上しました。

※この記事の関連は、16ペー
ジ(委員会)を参照。

企業誘致を推進

企業誘致促進事業委託料
865万円

令和4年度から実証事業を
実施してきたワーケーション
推進事業を引き続き実施しな
がら、参加企業への助成や地
方創生セミナーの開催など
を行います。

財源は、新しい地方経済・
生活環境創生交付金を活用し
ます。



(引用元: Googleマップ)

新たな駅伝大会を導入 奥球磨女子駅伝大会負 担金 698万円

公認奥球磨ロードレース大
会は、令和6年1月21日の第
10回で廃止となりましたが、
これに変わる大会として、奥
球磨女子駅伝が開催されるこ
とになりました。

財源は、スポーツ振興くじ
助成金548万円を活用しま
す。



男子駅伝に続き女子駅伝も開催
(昨年度のバナー広告)

その他の議案

教育委員会委員の任命
村山大輔さんを選任

これまで教育委員を務められた堤田 秋男さんの任期満了に伴い、長谷町長より村山大輔さん（上村区）の任命を求められ、議会は全会一致で同意しました。（任期4年）



教育委員	在 任
林 敦子 さん	H29.12 ~
藤岡 祐子 さん	R02.01 ~
工藤 維春 さん	R06.06 ~
村山 大輔 さん	R07.03 ~

発議第1号議会活性化
特別委員会の設置

3月14日の議会定例会で、議会活性化特別委員会を設置し、その後の委員会で委員長に吉田議員、副委員長に森山議員を選出しました。

湯前町議会では、過去3度にわたり議会改革調査特別委員会を設置し、町民に信頼され、町民の負託に答えられる真の議会の実現を目指し、これまでさまざまな取り組みを行ってきました。しかし、地方議会を取り巻く環境は日々変化しており、さらなる対応が求められることから、議会

工事請負契約の締結
R2災補林 林道宮の
谷線（2号箇所）災害
復旧工事

契約の方法は、指名競争入札、契約の金額は1億8150万円、契約の相手方は「有限会社 ふじもと」です。

改革だけでなく、さまざまな諸課題に関する調査を引き続き行うことにしました。また、委員会の名称を「議会活性化特別委員会」に改めています。

特別委員会	時 期
第1次議会改革調査	H28.12 ~
第2次議会改革調査	R01.01 ~
第3次議会改革調査	R03.06 ~
議会活性化	R07.03 ~

湯前町政治倫理審査
会委員の任命

6人を同意（任期2年）

- ◎ 深水 俊市さん（野中田3）
- ◎ 井上 朋和さん（馬場）
- ◎ 中武 義秋さん（上里3）
- ◎ 金山 充さん（下村）
- ◎ 右田 秀美さん（上里3）
- ◎ 蓑田 啓悟さん（蓑田法律事務所 弁護士）

議案審議の賛否一覧【議案34件、発議1件（1月～3月）】

議 案	田 山 幸 平	吉 田 精 二	西 靖 邦	遠 坂 道 太	椎 葉 弘 樹	森 山 宏	味 岡 恭	倉 本 豊	山 下 力	金 子 光 喜	審議結果 (賛成：反対)
議会議員の議員報酬 並びに費用弁償等に 関する条例の改正	○	○	○	○	○	×	×	○	×	-	可決(6：3) 詳細は特集1 を参照
令和7年度特別会計	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	可決(8：0)
上記以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決(9：0)

○：賛成 ×：反対 -：採決なし（議長は採決に加わりません）

一般質問

3人が執行部の考えを質す

質問者（登壇順）	質問項目	ページ
西 靖 邦	①「ふるさと会」の活性化	11
遠 坂 道 太	①農業振興 ②町の知名度向上	12
椎 葉 弘 樹	①2060年の人口ビジョン ②第6次総合計画のまちづくりビジョン	13

特別企画 前回一般質問

YouTubeアクセスランキング

一般質問への町民の関心をより高めるため、YouTube動画へのアクセスランキングを公表します。議員のやる気につながりますので、ぜひ動画をご覧ください。

議 員	12月一般質問
倉本 豊	123
椎葉 弘樹	117
遠坂 道太	117

(令和7年4月1日時点のアクセス数)

※生配信を除いたアクセス数

一般質問のYouTube
ライブ配信（生放送）を終了

詳細は、17ページ(広報常任委員会)を参照。

録画配信は、引き続き以下のチャンネルでご覧いただけます。



© YouTube 動画(「湯前町オフィシャル」で検索)

前回一般質問のYouTubeサムネイル



問 「ふるさと会」の活性化

答 広報と発信強化で 入会促進へ

議員 若年層や県外在住者に対し、「ふるさと会」の存在を広く認知してもらうための方法を検討しているか。

課長 情報発信は、現在、3カ月に1回のペースで会員の皆さまに広報紙を郵送し、本町の近況をお知らせしている。今後は、「二十歳を祝う会」などの節目の行事で、ふるさと会への入会を呼びかけるチラシを配布したり、ホームページやSNSを活用した

募集を行ったりすることが有効な手段である。そのため、事務局側と協議し、取り組みを検討したい。また、情報発信の強化対策も検討していきたい。

町長 同窓会などが計画されている場合には、その情報を把握し、チラシなどを通じてふるさと会への入会につなげていきたい。また、ホームページでの発信は、会員を募集している想いが伝わるような、発信方法の改善策を講じていきたい。

議員 世代を超えた交流を促進し、持続可能な「ふるさと会」として発展させるための方法を検討しているか。

課長 紹介動画やメンバーのインタビュー動画は、ふるさと会の活動状況を知らせる貴重な手段であると捉えてい

る。今後は、可能であればホームページなどでこれらを紹介していきたい。また、若年層の取り組みとして、総会以外にどのような活動ができるのか、事務局と担当課で協議を進めていきたい。

町長 広報紙やホームページでの活動報告は、今後も積極的に発信していきたい。これにより、町民の皆様への周知が進み、潜在層の入会促進にもつながると期待している。引き続き、効果的な発信方法を検討していきたい。



質問の様子は
こちら



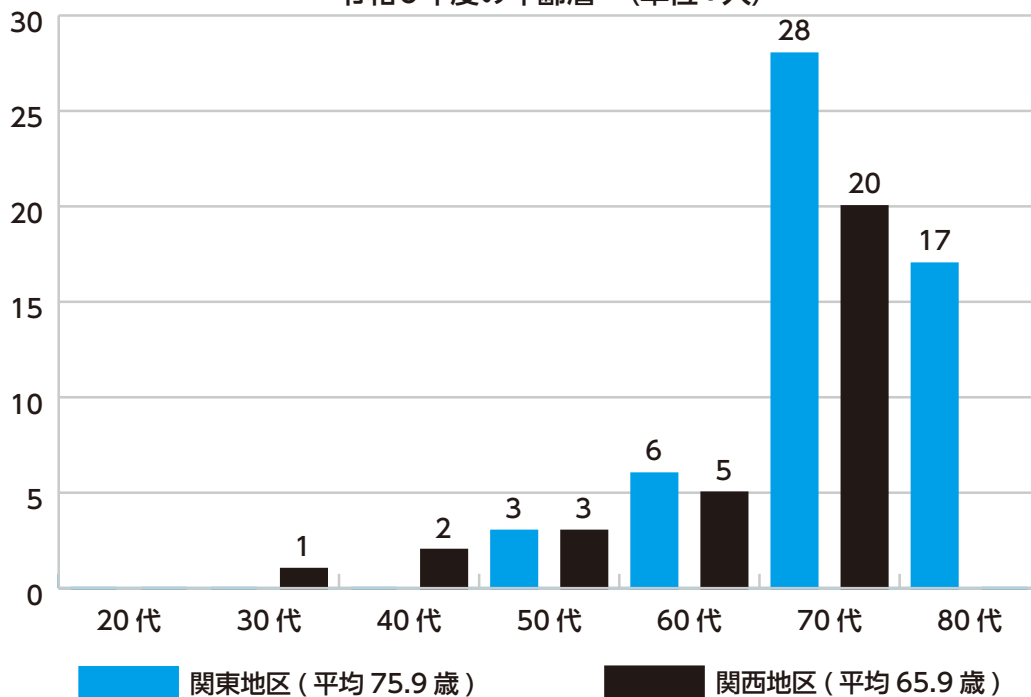
西 靖邦 議員

議員の つづき

「ふるさと会」を通じて、遠く離れていても湯前町と心でつながる関係を築きましょう。



令和6年度の年齢層 (単位:人)





遠坂 道太 議員



質問の様子は
こちら

問 農業振興

答 「ぴかまる」や乾田化事業にも対応したい

議員 農業資材、飼料、燃料などの高騰に対する支援を再度行う考えはないか。

課長 今後、急激な農業資材や燃料の価格高騰があった場合、国の臨時的な支援交付金などが再度交付されるようであれば、次の支援金制度の実施も検討したい。

町長 農業生産に係る経費を削減する営農方法の改善や、新たな販売方法、販売先・流通ルートの模索、補助金に頼らない農業生産技術の改善などの考え方が必要である。

議員 町の農業振興を図るために、「ぴかまる」の栽培に取り組んでいるが、産地化を目指すために、面積拡大を図っていく考えか。

課長 「ぴかまる」のブランド化は、試験栽培の結果を確認して検討したい。面積拡大は、稲種の確保や生産性の確保が担保し、生産者を募ることが課題である。

町長 「ぴかまる」栽培の振興に関する考え方や、契約栽培の在り方など、業者と今後の方針を十分検討しながら対応していきたい。

教えてゆっくん

乾田化って何？

水はけをよくして田んぼを乾かし、土壌を改良することで、土地の生産性を高めることだよ。



議員 町内の水田における排水不良の圃場は、乾田化（排水対策）事業に取り組む考えはないか。

町長 今後は、地域計画との整合も求められてくる。中山間地域直接支払交付金の協定集落で事業を実施する中で、乾田化事業に取り組むという合意を固めた上で、実施地区の調査や国県の補助事業採択に対応していきたい。

問 町の知名度向上

答 民間活力も利用しながら積極的に取り組む

議員 町の知名度向上を図るために、どのような施策を考えているか。

町長 人口減少が進む本町では、町の魅力を知ってもらい、交流人口の増加や地域活性化という点が極めて重要である。今後も、民間の活力も利用し、効果的な手法や新たな手法なども検討しながら、積極的に取り組む。



議員の

つぶやき

農家が、今必要とするところに支援が必要。町のPRは、地域活性化に取り組むことが重要。



椎葉 弘樹 議員



質問の様子は
こちら

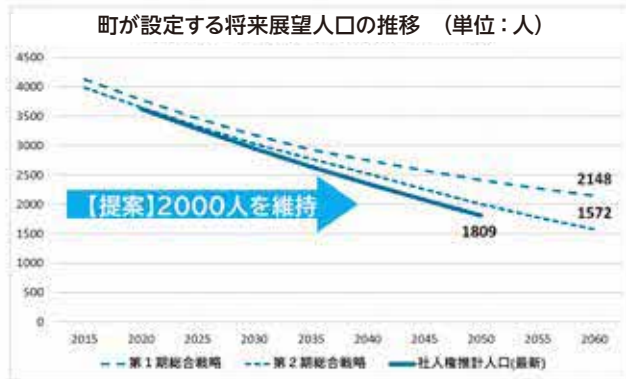
議員 第3期総合戦略で目指す人口目標は、2000人を維持する考えはないか。

問

2060年の人口ビジョン

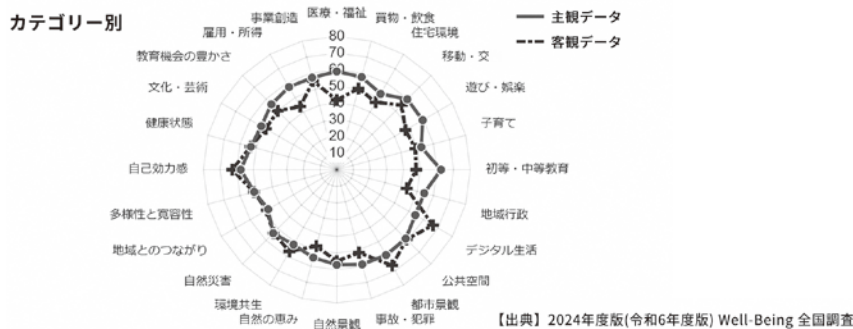
答

2000人維持を目標に緩やかな人口減少を目指す



課長 人口減少の曲線を緩やかにしていくことが、今後の歯止めではないかと思っています。

町長 2000人の目標に向かって、人口減少が緩やかな曲線になるような施策を考えながら、新たな取り組みを財源の許す限り対応していきたい。



答

達成度を町民と共有し地域幸福度指標を活用

問

第6次総合計画のまちづくりビジョン

議員 政策(施策)の評価指標を明確にして、将来像「マイホームタウン」の達成度を検証する考えはないか。

課長 将来像の達成度は、令和5年度の終了時点で80%ぐらい。将来像を達成するため、KGIやKPIの相關関係や、総合計画と総合戦略の統合などを、第7次総合計画の策定に向けて検討したい。

町長 総合計画の重点施策は、「令和2年7月豪雨災害からの創造的復興」、「大災害に備えた安全安心なまちづくり」、「人口減少への対応」の3つ。町民の皆さまが、まちづくりの進捗状況を把握できるように努力したい。

議員の



まちづくりと人口のビジョン達成度を町民の皆さまと共有しながら、地域幸福度が高い町を目指していただきたい。

議員 住民の「暮らしやすさ」と「幸福感」を数値化・可視化した地域幸福度指標を活用する考えはないか。

町長 デジタル田園都市国家構想に向けた地域幸福度(ウェルビーイング)指標の活用は、今後のまちづくりを行う上で、必要性を感じている。今回のまちづくりアンケートから、地域幸福度指標の設問も設けている。この地域幸福度は、取り組む自治体がまだまだ少ないが、今後のまちづくりに役立てたい。

議員派遣

長崎県時津町議会からの視察研修

政治倫理条例と子ども議会の調査

期 間：令和7年1月22日(水)

場 所：湯前町役場 洋会議室

出席者：議長、議会運営委員会委員、議会事務局 ※歓迎あいさつ：清藤副町長

研修資料や議員報告書は、議会図書室にありますので、住民の皆さまもご覧いただけます！



農業の厳しい現状と課題を学ぶ

熊本県町村議会 議員研修会

期 間：令和7年1月23日(木)

場 所：湯前町役場 洋会議室(オンライン形式)

講 師：鈴木 宜弘 氏 [東京大学大学院 特任教授・名誉教授]

演 題：「日本農業の課題」



<研修のポイント>

- ◎日本の食料自給率の低下とその影響
- ◎農業の現状と課題
- ◎食料安全保障の重要性
- ◎地域循環型経済の推進

広報の現状を再確認

上球磨正副議長会 広報研修会

期 間：令和7年1月31日(金)

場 所：あさぎり町役場 第2庁舎会議室

講 師：宮崎 泰樹 氏 [くまもと経済 政治経済部・記者]

演 題：「議会改革の一步は広報誌改革から ～広報の役割と先進地の事例～」



<研修のポイント>

- ◎広報の役割の再確認(情報提供機能、問題提起機能、意見聴取機能)
- ◎現在地と課題の確認

根拠に基づく地方創生と議会活動

上球磨町村議会 議員研修会

期 間：令和7年2月20日(木)

場 所：多良木町 交流館石倉A棟

講 師：長内 紳悟 氏 [一般社団法人 地方公共団体政策支援機構]

演 題：「持続可能なまちの前に持続可能な役場ですか？」



<研修のポイント>

- ◎地方創生と人口減少問題
- ◎エビデンスに基づく政策形成
- ◎議会改革の必要性
- ◎現在地と先進地の比較

企画経済建設常任委員会

2月5日・3月17日

委員長	西 靖邦
副委員長	吉田 精二
委員	倉本 豊、味岡 恭、椎葉 弘樹

次の所管事務を調査しました。

◎住宅政策(宅地分譲など)

宅地分譲と町営住宅の新築

令和7年度以降の住宅政策

◎JA倉庫跡地分譲地(予定)

計画全体面積	2,826㎡
分譲区画数	5区画
町営住宅建設戸数	2棟6戸
サテライトオフィス	225㎡
1区画あたり平均坪数	約80.6坪
工事実施時期	令和7年度
町営住宅の予定工程	令和7年度から設計業務着手 令和8年度から工事着手

◎牧原地区分譲地(予定)

計画全体面積	4,009.96㎡
分譲区画数	10区画
1区画あたり平均坪数	約92.25坪
工事実施時期	令和8年度以降

住宅政策への提言

委員会で取りまとめ中

本委員会では、「住宅政策(宅地分譲など)」の調査を行い、その結果をまとめた提言書を町長および執行部に提出する予定です。

広報常任委員会

1月7日・3月21日

委員長	田山 幸平
副委員長	椎葉 弘樹
委員	遠坂 道太、西 靖邦、吉田 精二

令和7年度以降

YouTubeライブ配信を終了

一般質問のライブ配信は、平日の限定された配信時間であることや、視聴を見込める年齢層の生活様式、これまでの実績などから費用対効果を検討し、令和7年度以降の配信は行わないことにしました。

なお、一般質問の録画配信は、視聴数も伸びているため、今後も継続します。

令和6年度 ライブ配信の実績

配信時間	配信回数	視聴数	配信費用(年間)
平日日中のみ	4回/年	数人/定例会	15万8000円

総務厚生文教常任委員会

2月5日・3月17日

委員長	遠坂 道太
副委員長	田山 幸平
委員	山下 力、金子 光喜、森山 宏

次の所管事務を調査しました。

◎まんが美術館の運用

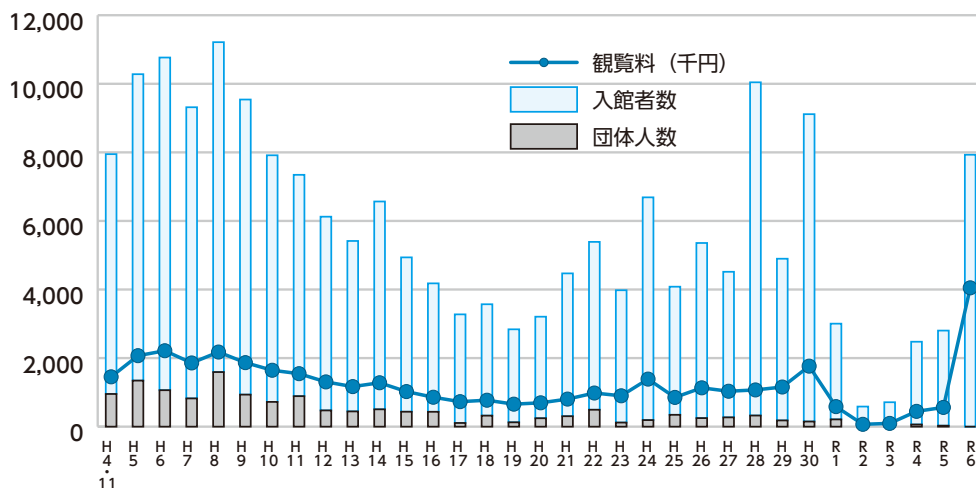
◎湯前町社会福祉協議会の現状

まんが美術館の運用

リニューアル後の動き

令和5年度からの大規模改修に伴い、教育課の事務所も移転され、現在は美術館専用の建物として運用されています。昨年は「夏目友人帳15周年記念展」なども開催され、コロナ禍以降、大幅な入館者数の回復と観覧料の増加につながり、引き続き、検証をしながら企画展を増やしていく意向です。加えて令和7年度は、まんが作品を扱う美術館と共に全国4カ所において「共同巡回展」を開催し、那須良輔作品の更なる認知度の広がりに向けた新しい取り組みが計画されています。

湯前まんが美術館 観覧者数の推移



湯前町社会福祉協議会の現状

施設の課題

昨年30周年を迎えた「高齢者福祉センター湯愛」の施設は、長年の経年劣化により、屋根や外壁の傷みが進んでいます。優先順位を考えて、現在、水漏れの酷かったお風呂やボイラーの改修を継続していますが、施設の長寿命化を図るためにも大規模改修の検討が必要です。



腐食した屋根(写真左)と外壁のひび割れ(写真右)

議会の窓

議長の窓

人吉市議会との初の合同研修会

くま川鉄道全線開通の重要性を学ぶ

2月18日、人吉市議会と球磨郡町村議会の議員による初めての合同研修会が、錦町で開催されました。この研修会は、くま川鉄道の全線開通に向けて、人吉市議会議長から球磨郡町村議会議長会(以降、郡議長会)へ呼びかけられたことで実現しました。

郡議長会の議論では、沿線地域とそれ以外の地域での捉え方の違いなど、温度差を感じることもありましたが、永江友二社長の熱意あふれる講演から、くま川鉄道再開への強い意志が感じられました。同鉄道や肥薩線の課題は、圏域全体で情報を共有し、協力して取り組む必要があることを確認しました。



「くま川鉄道の存在意義」を確認する人吉球磨の議員ら

議会事務局の窓

主な議会スケジュール【3月23日～6月18日】

活動内容	日程(予定)	対応者
町村議会新議員研修会	3/26 熊本市	田山
関東地区湯前ふるさと会総会	3/29 東京都	森山
三市町村議会国道整備促進合同協議会委員長会	4/11 西米良村	西
臨時会	4/23	全議員
三市町村議会国道整備促進合同協議会国道219号現地調査	5月中 西米良村、西都市	金子、西、吉田、椎葉、味岡、倉本
上球磨正副議長会	3/24 5/23	金子、椎葉
郡議長会	3/25 4/10 5/14	金子
全国町村議会正副議長研修会・正副議長による県選出国会議員への要望	5/27～28 東京都	金子、椎葉
議会全員協議会	3/26 5/23	全議員
関西地区湯前ふるさと会総会	5/31 大阪府	吉田
定例会	6/12～18	全議員

一部事務組合

令和7年度 当初予算と町負担金

一部事務組合	当初予算	湯前町の負担金
公立多良木病院企業団	49億9941万円 (48億7779万円)	1518万円 (1429万円)
人吉球磨広域行政組合	19億3602万円 (16億2831万円)	7443万円 (6260万円)
上球磨消防組合	8億6400万円 (9億3000万円)	1億2027万円 (1億1701万円)

※括弧数字：令和6年度予算

公立多良木病院企業団議会

令和7年度 病院事業の予定業務量

一般病床183床(うち休床33床)

業務内容	年間(人)	1日平均(人)
患者数	156,615	576
入院	53,655	147
一般病床	35,405	97
包括ケア病床	18,250	50
外来(訪問リハ含む)	99,120	413
訪問看護	3,840	16

<公立病院議員 西・吉田>

人吉球磨広域行政組合議会

新ごみ処理施設関連の進捗

令和7年度の事業スケジュール

新ごみ処理施設の整備は、令和6年11月に環境省の支援策(交付金)を活用するための「循環型社会形成推進地域計画」を策定し、各種準備が進められています。令和7年度は、新ごみ処理施設に係る処理規模や処理方式および事業方式などを検討し、令和8年度にかけて「ごみ処理施設整備基本計画」を策定する予定です。

事業区分	項目	予算
交付申請	循環型社会形成推進交付の交付申請	—
調査	測量・地質調査	2225万3000円
計画	地歴調査	調査に含む
設計	ごみ処理施設整備基本計画(令和7～8年度)	1680万8000円/年度
工事発注	PFI事業導入可能性調査	設計に含む
周辺整備	搬入道路拡幅 [経路1] 測量	2142万円
その他	・近隣地区説明会(区長説明会:第4回～第10回、地区説明会:第2回～第3回を開催予定) ・住民施設見学(6・7月に地区役員・希望者を対象に県内新施設建設地を9回見学予定)	20万3000円 371万3000円

<広域行政議員 遠坂・田山>

年4回にわたりテーマを設定し、住民の皆さまからご意見をいただきます。

テーマ

議員報酬の引き上げ



元町議会議員
黒木 喜巳男 さん

平成16年、国の三位一体の改革を受け、議会として議員定数と報酬の削減の両方を可決し、町長以下執行部と共に財政危機を乗り越えました。その後、議員だけは元に戻ることなく20年が経過している現状、答申のとおり見直す時期にあると思います。



元町議会議員
藤本 峰子 さん

担い手不足解消のための環境整備には理解できますが、この施策だけでは十分な解決には繋がらないと思います。意見交換会など若い世代の人材養成と併せて、地域社会全体が政治活動に理解を示し支援する環境づくりに励んでいけるよう期待しています。

「住民の声」のインタビューをお願いされたときは、ご協力をお願いします。Tel 0966-43-4132

『議員・風刺や時代を読む』

漫画作品と議会のコラボ企画

この企画は、湯前町が取り組むマンガのまちづくりを、議会も積極的に応援する取り組みです。風刺漫画や時代を描写した風景画は、地方議会と密接に関わっており、政治の問題や社会の動きを批評的かつ啓発的に表現する重要な手法です。



『いこい』 那須 良輔 氏

▶ 清流の多い人吉球磨で育った良輔にとって、川は身近な遊び場でした。「故郷の自然は私に豊かな人生観をはぐくんでくれた。18歳で東京に出たが、故郷での十八年の生活が私の一生を支配しているようである。」(那須良輔『自然との対話』より)

▶ ゆのまえで育まれた良輔氏の心の原風景とも思える作品。豊かさを身体で感じながら、個性的で喜び合う人の集まり。その記憶を受け継ぐかのように今、町内ではさまざまな人と場所が立ち上がりにぎわいを創り出そうと懸命に取り組まれています。この町のポテンシャルを可視化するならこのような姿ではないでしょうか。(田山)



◆ 広報常任委員会

私たちが編集しました。

委員長 田山 幸平
副委員長 椎葉 弘樹

委員 遠坂 道太
吉田 精二
西 靖邦

湯前町議会

検索

湯前町議会のホームページもご覧ください。

